

とうふねこ座：市川雅子 画

# まちがいさがし クイズ

## 問題

上下の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり3月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

1月18日(月)当日消印有効

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は3月初旬ごろ郵送します。



## 「ろうそく岩」(清田町)

ずっとむかしのことです。  
大嵐の去った次の朝、小江の浜にひとりの若い男が打ち上げられていました。  
勝治郎というこの男は、やがて元氣を取り戻し、清田の常蔵という百姓の家に奉公することになりました。人使いの荒い常蔵は、毎日勝治郎をこき使いましたが、勝治郎は、文句ひとつ言わずに一生懸命働きました。  
常蔵の娘お咲は、そんな勝治郎が気の毒でいつもやさしくかばっていました。  
ある日、常蔵は、勝治郎を連れて山仕事に出かけました。山道を登っている途中、常蔵が穴に落ちてしまい、勝治郎は必死の思いで助け出しました。  
そんなことがあってから常蔵の態度は人が変わったようにやさしくなり、やがて、ひとり娘のお咲を勝治郎の嫁にすることにしました。  
しばらくは幸せな日々が続きましたが、重い病氣になったお咲は死んでしまいました。それから常蔵は、また勝治郎につらくあたるようになりました。  
ある寒い秋の夜、鉢地味を越えて油を買いに行った勝治郎は、帰り道、きつねに盗まれてしまい、家を追い出されました。途方に暮れていると美しい娘が現れて、油を盗んだことを謝り、自分を買った小判を勝治郎に渡し、「これを持って江戸に行き、商売してください。」と言って消えていきました。  
勝治郎は江戸でろうそくを売って大当たりし、問屋として大成しました。  
これは鉢地のきつねのおかげだと、勝治郎は毎年秋になると鉢地の大きな岩の上に立てたろうそくに火を灯し、きつねたちへの合図としました。  
その後、だれ言つとなくこの岩のことをろうそく岩と呼ぶようになりました。

## ◆11月号の答え

11月号クイズまちがいさがし  
(龍若長者の宝の答え)  
応募総数77通  
正解者75人  
当選者敬称略・50音順  
形原町 浅田真央  
大塚町 井口恵美子  
鹿島町 石川真衣  
形原町 岡本直気  
竹谷町 小林義博  
西浦町 鈴木遼平  
五井町 竹内さち  
柏原町 中村典子  
鹿島町 中村日香  
鹿島町 望月飛羽  
おめでとーございます。賞品は1月初旬に発送します。

